

公開・非公開の別	<input type="checkbox"/> 公開	<input checked="" type="checkbox"/> 部分公開
	<input type="checkbox"/> 非公開	

令和3年度浜松市小児慢性特定疾病審査会会議 会議録

- 1 開催日時 令和4年1月14日（金） 午後6時00分から午後6時50分
- 2 開催場所 浜松市保健所 2階 22会議室
- 3 出席状況
 委員 石川 貴充、松林 正、宮入 烈、宮本 健、横田 卓也
 事務局 鈴木 達夫（医療担当部長）、板倉 称（健康福祉部医監）
 平野 由利子（健康増進課長）、渥美 雅人（健康増進課長補佐）
 健康増進課職員4名
- 4 傍聴者 0人
- 5 議事内容
 (1) 令和3年度上半期実績報告
 (2) 審査の実施に係る確認事項について
 ① 担当疾患群の確認
 ② 審査の流れ及び取り決めについて
 (3) その他
- 6 会議録の作成者 健康増進課母子グループ 黒田 和泉
- 7 記録の方法 発言者の要点記録
 録音の有無 有・無
- 8 会議記録

定刻の午後6時00分に開会し、事務局から出席数の報告、情報公開の確認、委員の紹介、医療担当部長挨拶を行った。なお、資料の公開に関しては、個人が特定される可能性がある上半期不承認疾病内訳及び一覧（1ページ）、別表1小児慢性特定疾病受給認定疾病一覧（2～7ページ）及び、審査委員の担当疾患を示した資料（11ページ）については非公開とする旨説明し、了承を得た。

【会長】

それでは、議題（1）令和3年度上半期実績報告について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

令和3年度上半期の実績について、資料1ページから10ページを基に説明。

【会長】

実績報告について、ご意見などありますか。

静岡市と浜松市で認定されている数に若干差があるように思えるが、人口比から考えた場合妥当な数でしょうか。認定率・届出率に違いがあるか、考察があれば教えてください。

【事務局】

人口比から考えて大きな差はないと考えていますが、診療できる医療機関などに違いがある可能性はあります。委員の皆様からも何かありましたらご教授ください。

【会 長】

他になれば、議題（２）審査の実施に係る確認事項について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

担当疾患群について、資料 11 ページを基に説明。

【会 長】

議題（２）①に関しまして、承認ということによろしいでしょうか。

【委 員】

全員の挙手。

【会 長】

承認ということですので、議題（２）②から事務局の説明をお願いします。

【事務局】

審査の流れ等について、資料 12 ページから 13 ページを基に説明。

【会 長】

議題（２）②に関しまして、何かご意見ございますか。

特になければ、議題（３）その他について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

①ヒト成長ホルモン治療対象者の継続申請の有効期限について、②令和 3 年 11 月 1 日からの疾病追加について、資料 14 ページを基に説明。

【会 長】

議題（３）①ヒト成長ホルモン治療対象者の継続申請の有効期限について、これまで終了基準間近の方について半年間の認定としており、必要がある場合は再度申請が必要であったのが、1 年の認定で問題ないと回答を得たということですが、こちらについて委員の皆様は承認ということによろしいでしょうか。疑問のある方は挙手をお願いします。

【委 員】

確かに半年とするよりも 1 年と認定とするほうが、審査する側はやりやすくなるので異論はありませんが、近隣の自治体で 1 年間の自治体が多かったと資料に書かれていることについて、1 年未満の自治体では半年の認定としているのか、月単位の認定としているのかを教えてください。

【事務局】

確認を行った自治体はほぼ1年での認定としており、1年未満の自治体では半年の認定としているとのことでした。

【会 長】

では、議題（3）①の有効期間の認定変更に関しまして、委員の皆様は御同意いただけますでしょうか。

【委 員】

全員の挙手。

【会 長】

では、議題（3）③について事務局の説明をお願いします。

【事務局】

③小児慢性データベースのシステムオンライン化についてを資料14ページ、27ページから29ページを基に説明。

【会 長】

議題（3）③に関しまして、何かご意見ご質問ございますか。

システムの導入にあたって特別なパソコンの環境は必要なく、一般的な電子診療録やパソコンのシステムに導入できるということによろしいですか。

【事務局】

おそらくその通りとのことです。

【委 員】

各病院の電子カルテシステムを再構築する必要がある旨、添付の資料に記載がありますが、先ほどの会長の質問とも重複しますが、大掛かりなシステム変更などが必要なのでしょうか。

【事務局】

規模感など国から詳細な資料が出てきておらず、まず自治体にて連携部分を進め、次に医療機関に詳細が明示されるとの国のイメージとなっていますが、国から自治体に詳細な情報が出てきたのが先月のことになりますので、国の進捗が押している印象があります。また最新の情報が示されましたら随時情報提供させていただければと思います。

【委 員】

令和5年とのことですが来年の話であるので、疑問に思い質問させていただきました。

【会 長】

かなり大掛かりな話だと思いますので、また新たな情報がわかりましたら提供をお願いします。データベースについて他に質問はありますか。なければ続けてお願いします。

【事務局】

今年度の報酬の支払い時期について連絡。

【会 長】

本日の議題は以上になりますが、全体を通して、小児慢性特定疾患に関してや審査について何かありましたらお願いします。

【委 員】

1つよろしいでしょうか。審査の基準を小児慢性情報センターのホームページを確認してチェックをしていくわけですが、審査について判断に迷うことがあります。これまでは小児慢性情報センターのホームページから問い合わせをして確認していましたが、そのやり方でよろしいのでしょうか。他の委員の方に確認したくなる時もありますが、公平性の観点からしないようにしております。

【会 長】

私もわからないことがありましたら事務局を通してセンターに確認を依頼しています。事務局からお答えをお願いします。

【事務局】

審査についての問い合わせですが、先日センターから連絡があり、今後は厚生労働省に問い合わせを行うようにとのことでしたので、ご不明点等ございましたら事務局にご連絡いただければ厚生労働省に問い合わせを行います。なお、これまでよりお時間がかかる可能性はあるかと思えます。

【会 長】

これまでは情報センターに問い合わせを行っていたが、今後はできなくなる可能性があるため、事務局から厚生労働省に問い合わせをしていただくという流れでしょうか。

【事務局】

その通りです。

【委 員】

事務局に伝えれば厚生労働省に確認をしていただけるということですね。わかりました。

【会 長】

他はいかがでしょうか。

問合せに関しては全国レベルでいうと相当様々なものがあるかと思えますし、サポートが必要という声を上げていく必要があると思えます。今後は時間がかかるということであれば意見をまとめて出していきたいと思えます。

他にご意見ございますか。なければ、今年度の審査会会議を閉会したいと思います。ありがとうございました。